

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2018. 8. 9 NO. 227

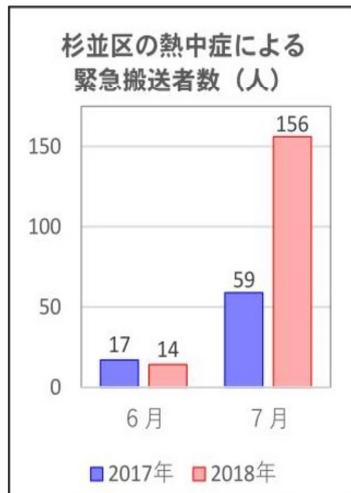
連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319

熱中症に関する緊急対策の申し入れを実施 災害級の酷暑から区民を守る施策を

熱中症による救急搬送 昨年の3倍近くに・・・

連日の猛暑の中、熱中症による救急搬送が急増しています。

日本共産党杉並区議団の調査では、杉並区内の救急搬送人員は昨年7月の59人を大きく上回り、156人と3倍近くにのぼっています(東京都は昨年1713人、本年4383人)。杉並区内で熱中症により亡くなられた方は、6月～8月7日までで6人にも及んでいます(東京都監察医務院への聞き取り)。



まさに「命に関わる危険な暑さ」となっており、行政として命を守る緊急の対策が求められています。

特別な対策が必要 区も必要性認める

8月8日、党区議団は区長・教育長に対し、熱中症対策の推進を求め、緊急の申し入れを実施しました。

応じた保健福祉部長は、緊急対策の必要性を認め、要望の内容について検討すると答弁しました。

■党区議団の緊急申し入れは

- ・すでに荒川区などで実施している高齢者・障がい者・低所得世帯等へのエアコン購入費、及び電気代の補助等の支援策を講じること。
- ・高齢者や障害者世帯、一人暮らし世帯への対策として、ケースワーカー等の区職員や地域包括支援センターなど関係者で連携し訪問活動を行うなど、対策を講ずること。熱中症予防対策の周知徹底を図ること。
- ・区立小中学校はじめ、すべての体育館へのエアコン設置を順次すすめること。など、10項目です。



災害級の酷暑 万全の備えを

気象庁は、今年の暑さは「災害」と異例の記者会見を行ない、当面続く猛暑に厳重な警戒が必要としています。従来の熱中症対策にとどまらず、特別な対策が必要です。

無理な外出は控え、ためらわずに冷房を使用すること、水分や塩分のこまめな補給など、万全の備えをしてください。引き続き、熱中症対策の推進に向け、全力を尽くします。

広島・長崎 被爆73年 核兵器禁止条約 1日も早い発効を

原水爆世界大会 多彩なテーマで交流

8月2日から6日まで、原水爆禁止世界大会が広島で開催されました。海外からも政府やNGO代表が多数参加。広島市内各地でフォーラム、特別集会、分科会などが取り組まれ、被爆の実相を広げ、核兵器禁止条約の発効を求める国際的共同发展をめざそうと決意あふれる大会となりました。



(写真)6日ヒロシマデー集会(しんぶん赤旗より)

不参加変わりない―条約に背を向ける安倍首相

人類史上初めて核兵器を違法とする、画期的な核兵器禁止条約が国連で採択されて1年がたちました。日本は、唯一の戦争被爆国であり、核兵器禁止条約に率先して参加するのが当然です。ところが、安倍政権と自民党は、「核兵器のない世界を実現するために必要なのは核兵器国の参加を得ることが必要不

可欠。条約には核兵器国は残念ながら一國も参加していない」として、条約に一貫して反対しています。

平和記念式典でも、広島市長や市議会議長、県知事、国連事務総長代理まですべての人が核兵器禁止条約にふれたなかで、安倍首相は一言もふれませんでした。核保有国に気がねして口にできない安倍首相。いったい、どこの国の総理大臣なのでしょう。

59カ国署名、14カ国批准

核兵器廃絶は、緊急で切実な課題です。この条約は、国連加盟国50カ国が署名・批准すれば、正式に効力を持ちます。8月3日現在、59カ国が署名し、14カ国が批准しました。各国の署名・批准をすすめる、一日も早く核兵器禁止条約を発効させるために、世界の世論を大きく広げていきましょう。

杉並ピースフォーラムに行ってきました!



8月3～5日、開催された杉並ピースフォーラム。大勢の市民が訪れていました。

このままいったら

猛暑の五輪 時期再検討を

共産党都議団が知事に申し入れ

日本共産党都議団は7月31日、酷暑が予想される2020年東京五輪・パラリンピックの開催日程を再検討するよう、小池百合子都知事と森喜朗大会組織委員会会長に申し入れました。



共産党都議団は、気象庁が「災害と認識」というほどの猛暑で熱中症の被害が広がっていることから、この時期の開催を多くの都民が心配するとともに、専門家から危惧する声が上がりに、海外メディアも警鐘を鳴らしていることを紹介。「2年後も災害レベルの暑さとなる可能性は否定できず、アスリートや観客、ボランティア等を危険にさらしかねない」として、専門家や選手の意見も聞きながら、9月か10月に開催することも含めて改めて検討するよう強く求めました。申し入れ書を受け取った東京都オリリンピック・パラリンピック準備局総務部長は、「(要請内容を)関係部局に伝えるとともに、組織委員会にも話をすると答えました。今日の状況を見れば、「災害」レベルの暑さの危険性は明らかです。日本共産党は、アスリートや観客、ボランティアを守る五輪になるよう全力をあげます。